

平成21年 市職員への年頭訓示

みなさん、新年明けましておめでとうございます。

皆さんと共に、健康で明るい新年を迎えられましたことと、心からお祝い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、8月に行われました北京オリンピックでの各国代表の熱い戦いに世界中が喜びと感動に沸いた反面、サブプライムローンに端を発しました金融不安が、世界規模の経済活動の減速を招き、日本の経済社会にも大きく影を落とし、底の見えないこの経済不況が、年を越して現在も続いているということは誠に残念でなりません。今回の不況の波を受けて、市民の皆様の中にも苦しい生活をしておられる方が多くおられます。政府も新たな経済対策を打ち出すなどしておりますが、この大変厳しい経済状況は今後も続くものと予想されています。このことから、今後わたしたち地方自治体にとりましても、税収の減少や扶助費の増加と云った面での影響が懸念され、市の財政状況は一層厳しくなるものと危惧いたしております。今後もなお一層の行財政改革を進め、この状況を皆様とともに乗り越えてまいりたいと考えております。

一方、私たちの身近なところで振り返りますと、何といたっても9月に新庁舎の完成を迎えたことは大変喜ばしい出来事でした。このことによりまして、合併以降、加茂支所、山城支所、そしてNTT 仮庁舎と分散化しておりました本庁機能を新庁舎に集結させ、それに合わせた、機構改革、また人事異動を行ったことで、より市民の皆様の立場にたったサービスができるようになりました。また、開庁しましからの1ヶ月間は、新庁舎入り口また、旧庁舎周辺に、職員の皆さんを案内係として配置させていただき、市民の皆様が混乱されないように、対応させていただきました。職員の皆さんにはそれぞれ大変忙しい中ではありましたが、引越し作業、また窓口案内とご協力をいただきまして誠にありがとうございました。おかげさまで、大きな混乱もなくスムーズに業務をスタートさせることができたと思っております。また、昨年12月からは職員研修ということで、窓口案内を再開していただいております。職員の皆様にはそれぞれ大変忙しい中とは思いますが、なお一層の行政サービスの充実を心がけて市民の皆様に対応していただきますようお願いいたします。

今年はいよいよ10年後の木津川市の指針となる「木津川市第一次総合計画」が「水・緑・歴史が薫る文化創造都市」を将来像として動き始めます。この計画を推し

進める根幹は、何と言っても昨年策定いたしました行革の推進計画、そして、それに伴います行動計画(アクションプラン)でございます。どうか、皆様方にはお互いの連携を密にしながら本格的に、本気で取り組んでいていただきたいと思います。

景気浮揚策として、定額給付金の事務が、今月に開催される国会の第二次補正の中に計上されております。予定どおり進みますと 2月1日を基準日として、木津川市で10億円を越える給付金の支給事務が予定されます。全国の市町村が同様の作業となるわけでありまして、木津川市といたしましても、職員の皆さんの協力により、至急、体制を整えて対応して参りたいと考えております。

また、行財政改革の一環として人事評価制度の導入を検討してまいります。職員の皆様には、かねてから申し上げておりますが、年功序列や慣例による人事は行いません。市民の幸せを願い、その目的を達成するために責任を持って努力していただける方、政策的課題を市全体の課題としてとらえ協力・調整して取り組んでいただける方、更には課題解決また、業務改善や提案に積極的に取り組んでいただける方の登用を進めていきたいと考えております。職員の皆様におかれましては、これらのことを念頭に職務に精励していただきますようお願い致します。

さて、私は、仕事を行っていく上で大切なのは、相互の信頼関係だと思っております。重要課題を解決するためには、お互いに相手を理解し信頼関係を築かなければ事務がスムーズに進みません。信頼関係を構築するとお互いの間には『絆』が生まれてきます。この『絆』を結ぶことが大切であると考えております。職員との絆、市民との絆、地域との絆、人と人との絆など、様々な『絆』がありますが、今年はこの『絆』をテーマとして職務を遂行していただきたいと考えております。

木津川市には、清掃センター建設などまだまだ懸案となっている課題が多く残っております。また皆様の職務においても様々な課題や懸案事項などもたくさんあると思います。それらの課題を解決するためにも、職員一人ひとりが市民の皆様、職場の上司・部下、また様々な人との深い信頼関係を築き、お互いの『絆』を深めて、一緒に「魅力ある木津川市」を作っていただきたいと考えております。

木津川市が発足いたしまして、まもなく2年となります。私の市長としての、任期も4月で折り返しを迎えます。これまでの職員のみなさんの頑張りにより心から感謝を申し上げます。就任してからの2年間を振り返りますと合併当初から課題とされてきた新庁舎建設、公共交通の再編や区制度の見直しなどの懸案事項の解決に職員の皆様と一緒に全力を注いでまいりました。また市民の皆様とお

約束をしたマニフェストの項目につきましても達成できたものもございますし、いまだ手付かずで未達成のものもございます。合併後、新たに課題となった項目も多くございます。今後も残された課題の解決に努力するとともに『木津川市に住みたい、住み続けたい。合併して良かったと実感していただけるようなまち』を築いてまいりたいと考えております。職員の皆様と共に力を合わせて、一緒に前を向いて魅力ある木津川市を築いてまいりましょう。

最後になりましたが、今年も皆さんにとって良い年でありますことと、木津川市が更に飛躍いたしますことを祈念いたしまして、年頭の訓示といたします。